

武雄高校だより

令和3年 3月 2日発行 第215号

発行者 佐賀県立武雄高等学校

TEL : 0954-22-3103

FAX : 0954-20-1010

URL : <https://www.education.saga.jp/hp/takeokoukou>

武雄高等学校 第12回 卒業証書授与式

3月1日(月)に第12回卒業証書授与式が行われ、3年生231名が卒業しました。昨年同様、短縮された中での式ではありましたが、厳粛な雰囲気の中にも温かみのある、思い出に残る素晴らしいものになったことと思います。今年度は様々な困難や壁が生徒たちの前に立ちふさがりましたが、その度にそれを乗り越えようとする3年生の姿はとても印象的でした。

その姿は確実に、明るい未来を期待させるものであったと思いますし、在校生にも深く刻まれていると思います。この3年間で培った力を元に、未来へと羽ばたいていってくれることを期待します。裏面には卒業生代表として答辞を述べた北川 立さんの言葉が載っていますので、ご覧ください。



学年末考査終了

1・2年生は、2月17日に学年末考査も無事終了し、いよいよ次の学年まで残り1か月となりました。3年生は最後の学年で、納得のいく進路実現ができるように、2年生は進路意識を更に高め、目標に近づくための努力ができるようにしてほしいと思います。

● 少林寺拳法部 教育長表彰 ●

2月10日(水)に「令和2年度第2回佐賀県教育委員会表彰式」が行われ、本校少林寺拳法部が表彰を受けました。表彰を受けたのは、鈴木愛玲(2-1)、古賀文奈(2-5)、佐藤彩音(2-2)、西津満月(1-4)、谷口雄一(1-3)の以上5名です。第9回九州高等学校少林寺拳法選抜大会において、女子団体1位、女子自由組演武1位、女子規定単独演武1位、男子規定単独演武1位の成績を収めたことが評価されました。これからも技術と心身の鍛錬を継続し、次年度の大会においても更なる飛躍ができるよう期待しています。



今後の主な予定

< 3月 >

24日(水) 修了式・退任式

< 4月 >

6日(火) 始業式・新任式

8日(木) 入学式

9日(金) 対面式

答辞

冬の厳しい寒さにたえた武高坂の桜にも暖かな春の日差しが降り注ぐ今日の佳き日に、私たち第十二回卒業生のために、このように盛大で厳粛な式典を挙げていただき、誠にありがとうございます。ご来賓の方、保護者の皆様、そして先生方に見守られながら本日、このように卒業の日を迎えることができたことを心から嬉しく思います。

三年前の春、私たちはそれぞれの希望を胸に、桜咲き誇る武高坂を登ってきました。見慣れない同級生に囲まれて不安を感じながら臨んだ入学式でしたが、今や皆、良きライバル、そして良き仲間となって今日共にこの場にいます。

あの日から始まった高校生活。「質実剛健」「報恩感謝」の校是を胸に、勉強をはじめ部活動や校外活動など様々な活動に励みました。そこで仲間と切磋琢磨して培ってきた知識や技術、そして思い出は何物にも代えがたいものです。

三年生のみならず。修学旅行では、初めて目の当たりにする東京の高層ビル群に驚きを隠せませんでしたね。新潟では一面雪景色のなか、スキーの難しさに戸惑いながらも互いに教え合いスキーを満喫し、旅館においては学校では話せないような多くのことを語り合いましたね。武陵祭では、新型コロナウイルス感染予防のため、リモートでの文化祭や体育祭の新競技追加など初めてのことが多く困惑しましたが、その限られた状況の中でも皆と心一つにして大いに盛り上がりました。高校生活を通し、互いに衝突しながらも困難を乗り越え、協力し合うことで、信頼できる生涯の仲間ができました。本当にありがとうございます。

そして、在校生の皆さん。今日はこの場を共にすることはできませんが、皆さんに伝えたい言葉があります。部活動だけでなく、多くの場で私たちを信じ、ついてきてくれました。学校行事を通して学年や部活動の壁を越えてみなさんと交流できたことは、私たちにとって大切な思い出です。これからは皆さんが武雄高校を担う番です。多くの不安を抱えていることだろうと思いますが、皆さんには経験豊富な先生方、そして何より共に励まし合って学んでいく仲間がいます。そのことを忘れずに、今の時期にしかできない多くのことに全力を尽くしてください。これからも、武雄高校の一員として、そして、地域社会の一員として皆さんの活躍を心から願っています。

また、私たちを日ごろから見守り、支えてくださった学年主任の井手先生を始め多くの先生方。私たちの夢実現のため、多大なるサポートをしていただきました。大学入学共通テストを含む新入試制度が始まった今年度、私たちのみならず、先生方にも多くの不安や苦労があったことと思います。私たちの進路実現のために自分の時間を削ってまで尽力してくださったこと、本当に感謝しています。先生方とのたくさんの思い出とともに、先生方からいただいた多くの言葉や激励の言葉を胸に私たちは進んでいきます。これまでの心を尽くされたご指導、本当にありがとうございました。

そして、一番身近で支えてくれた家族へ。毎日のご飯から送迎まで、私たちのことを大切に思っていていただき、苦しい時やつらい時に応援してくれました。私たちのこれまでの成長に、家族の存在は必要不可欠でした。普段はなかなか言い表せませんが、ここにいる一人一人がそれぞれの形で感謝の気持ちを持っています。ありがとうございました。私たちは本日、高校を卒業し、新たな世界へと進んでいきます。これからもいろいろと心配をかけることとは思いますが、私たちの心の支えでいてください。

さて、今、世界は新型コロナウイルスの感染拡大により未曾有の危機に陥っています。その影響は私たちにも及び、外出自粛をはじめ、インターハイなど各種大会の中止、全国一斉休校など様々なことが起きました。しかし、この経験がこれまで高校生活で学んできたことをより深めることにつながったように思えます。休校期間の間、私たちは何をすべきか、医療従事者をはじめ、様々な方々が奮闘されている中、私たちには何ができるのか、そのようなことを考えました。武雄高校で学んだ多角的な視点は、地域社会に、日本に、そして、世界に目を向けることを可能にしてくれました。この危機を乗り越え、新たな社会を構築し、他の様々な山積する社会問題にも向き合い、解決していくのはこの私たちです。これから私たちは、この武雄高校で学んだ豊富な知識と多角的な視点、仲間と共に得た様々な経験を活かし新たな時代の担い手として、地域社会、国際社会のために尽力することをここに誓います。

最後になりましたが、これからの武雄高校のさらなる発展をお祈り申し上げて、答辞の言葉といたします。

令和三年三月一日
卒業生代表 北川 立